

教科	社会	単元名	歴史的分野「中世から近世へ」
----	----	-----	----------------

本時のねらい

各種資料の読み取りを通して、織田信長の政策について、そのねらいや、それがもたらした変化について多面的に考察し、複数の資料の内容から織田信長が天下統一に近づけた理由を表現できるようにする。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・家庭学習として事前に動画を視聴させ、事前課題(Formsを活用したテスト)に取り組ませることで、基礎的な知識を事前に家庭等で学習できるようにする。これにより、資料の読み取りや考察に充てる時間を十分に確保できる。
- ・PowerPointの共同編集により、他者参照が容易にでき、他者の考えを参考に自分の考えをつくることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・NHK for school
- ・Forms
- ・PowerPoint
- ・Excel

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本授業までに動画を視聴し、事前課題を解く。 ・NHK for schoolを視聴し、必要に応じて教科書を使いながら事前課題(Formsを活用したテスト)を解く。 <p>⇒授業では信長に関する簡単な確認のみにとどめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な知識を事前に確認しておくことで授業内での資料の読み取りや考察に充てる時間の確保につながる。 ○事前動画・事前課題は過度な負担にならないようできるだけ短時間(15分以内)で完結できる内容にする。 ○事前動画を複数(小学生向け・中学生向け・クラブなど)設定し、興味や発達段階に応じて選択できるようにする。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題「信長が天下統一に近づけた理由」について様々な角度から迫る。(A 鉄砲 B 経済面 C 対宗教 D 戦い方の4つの視点から1つ選択して考察) 【写真1】 ・個人でPowerPointに情報を整理する。 ・個人で整理した情報に基づきエキスパート班(同テーマで集まったグループ)で各視点について内容を分析・確認する。 ○信長が天下統一に近づけた理由について多面的に考察する。(ジグソー活動)(ABCD混合班での活動) 【写真2】 ・エキスパート活動で考察した内容について、ジグソー班(ABCDの混合班)で伝え合い、内容について確認し合う。 ・各視点からの考察に基づいて、学習課題に対する答えをジグソー班で考え、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○PowerPointで情報を整理することで、学びを構造化できる。また、他者参照することで他者の考えから学びを得られる。 ○PowerPointにエキスパート班での考察内容をまとめておくことで、メモを取る時間を省き、後のジグソー活動が思考する時間となるようにする。 ○PowerPointに打ち込ませることで後の全体での交流や個人でのまとめにつなげる。また、共同編集機能により、他者(他班)参照が可能となり、捉えや考え方が重なっている部分は共有を省ける。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ジグソー班で考察したことをふまえ、信長が天下統一に近づけた理由について、全体で交流する。 ○本時のまとめを記入する。 <p style="text-align: right;">【写真3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○クラウド上のExcelにまとめを記入することで、他者参照が可能となり、多様な学びを共有できる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】エキスパート活動(同テーマで集まったグループ)にて、生徒どうしで情報を共有、整理している場面



【写真2】ジグソー活動(ABCDの混合班)にて、エキスパート班の学びの内容を共有し、学習課題について考えている場面



【写真3】Excelまとめ共有シートにて、他の生徒の学びを共有でき、参考にまとめを考える場面

児童生徒の反応や変容

- ・他者参照が容易にできることで学習に課題がある生徒もスムーズに授業に参加できた。
- ・PowerPointに整理された情報が記載されているので、プリントやノートに情報を転記する必要がなくなり、思考時間を十分に確保することができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

クラウド活用することで、他者の学びを自己の学びにつなげていくことが容易になる。様々な教科・様々なクラスで実践していくことで各種ソフトウェアやクラウドの活用方法など、情報活用能力が高まっていく。